

## 第8回 D科 コンピュータ基礎および演習

平成11年6月4日

3時限～4時限

### 1. 前回アンケート調査結果について

### 2. MS - WORDを使ったホームページの記述

- (1) 主な手順
- (2) 文章の入力
- (3) 文字の修飾
- (4) 表の作成
- (5) 表の罫線

#### 小休止

- (6) 画像の表示
- (7) リンクの設定
- (8) アドレスの表示
- (9) ファイルの保存
- (10) プレビューによる表示

#### 小休止

### 3. WWWサーバへの登録

- (1) ファイルの転送
- (2) ブラウザを使った閲覧

### 4. アンケート調査

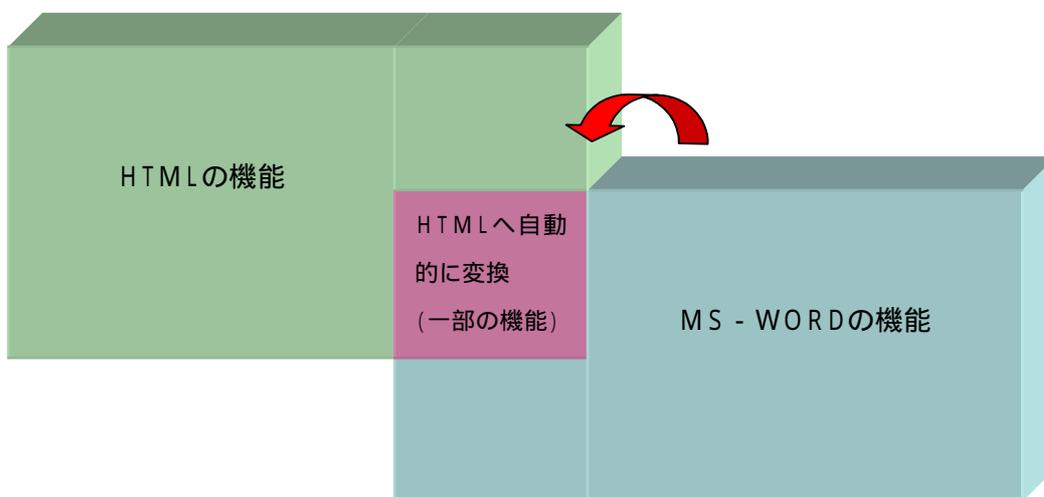
## ホームページの作成

### 1. ホームページの記述

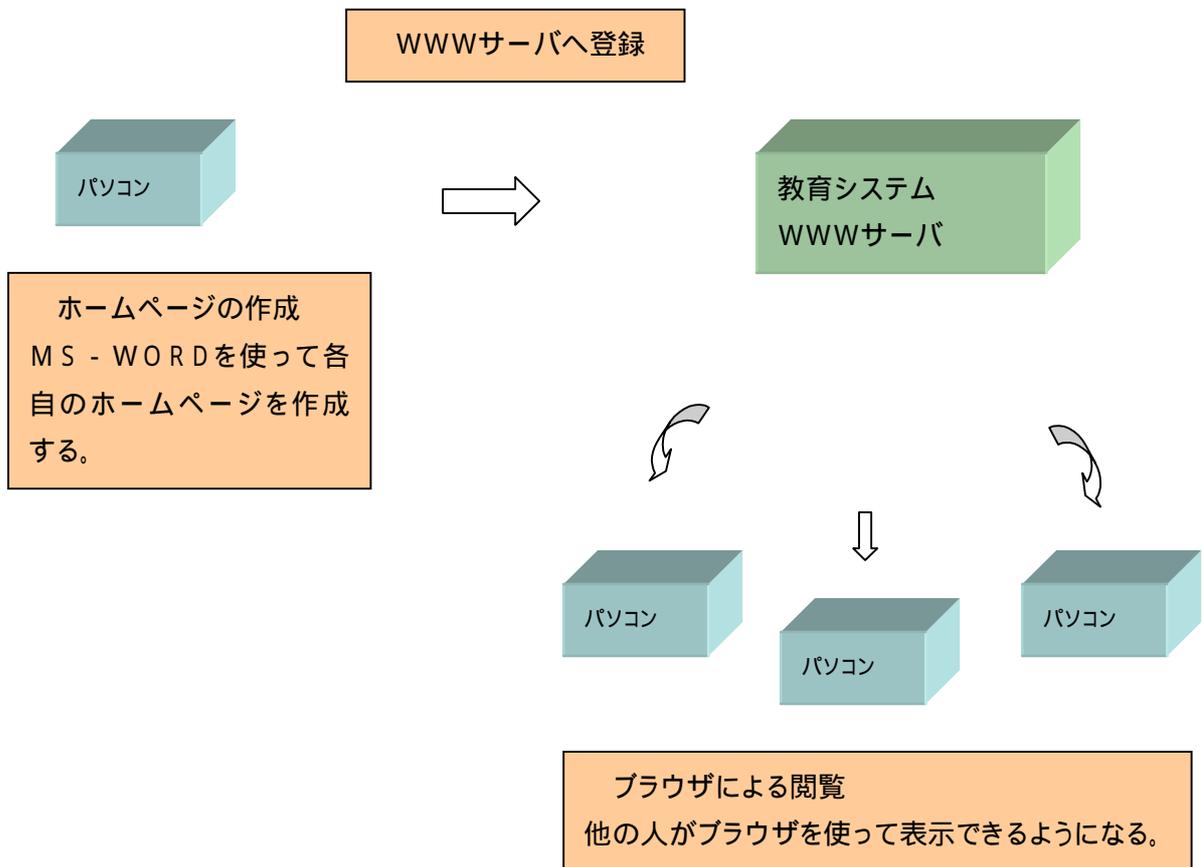
ホームページは、HTML (Hyper Text Markup Language) を使って記述します。HTMLは、**テキストファイル**です。したがって、メモ帳などを使って入力することができます。HTMLは、**タグ**をテキストの中に埋め込んでいくことによって、ホームページを記述します。しかし、このタグは、非常に多くの種類とオプションがあり、初心者にとって決してわかりやすいとは言えません。

みなさんが、ホームページを記述する方法には、2つあります。一つは、メモ帳などの**テキストエディタ**を使ってタグを入力する方法です。二つ目は、ホームページを記述するための**専用のエディタ**を使う方法です。

教育システムのMS - WORDには、文章をHTML形式に変換できる機能があります。これを使えば、**MS-WORDで作成した文章は自動的にHTML形式に変換**できます。ただし、MS - WORDのすべての機能がHTMLに変換できるわけではありません。逆に、MS - WORDがHTMLのすべてのタグを実現できるわけでもありません。



## 2. MS - WORDを使ったホームページの作成手順



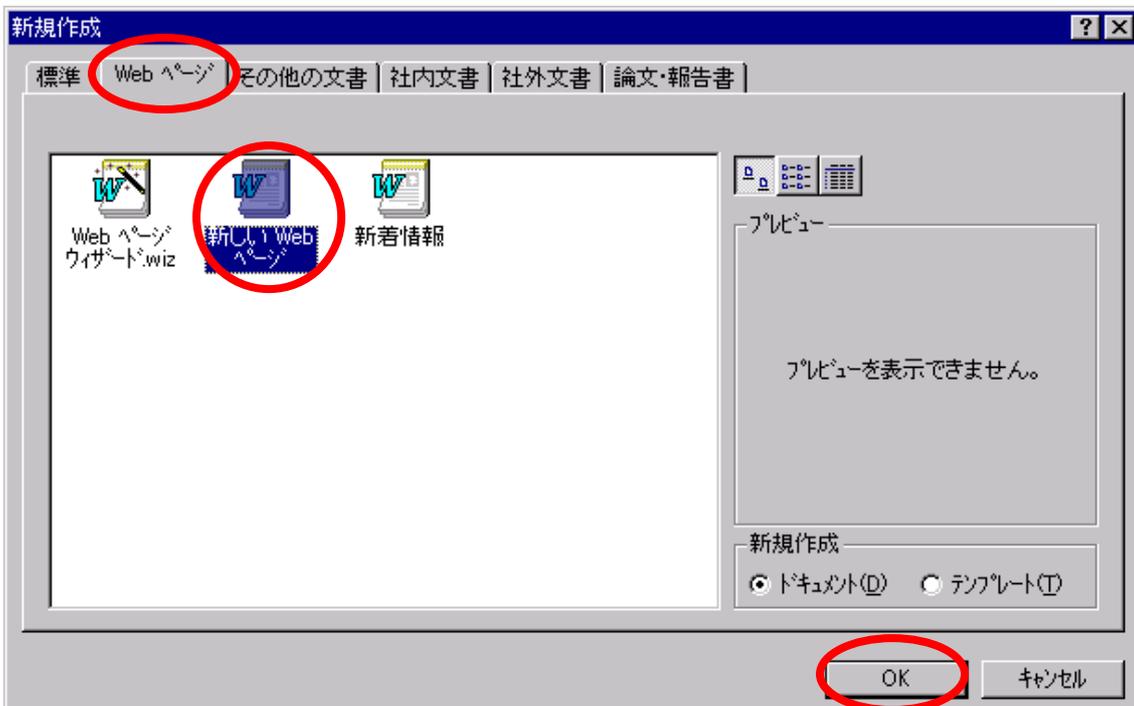
WWWサーバへホームページを登録するということは、テレビの世界にたとえるなら、放送局を所有し運営することに匹敵します。他人にとって有益な情報を提供できるよう、工夫するようにしましょう。

### 3. MS - WORDの起動

[スタート][プログラム][Microsoft Word]の順にクリックします。

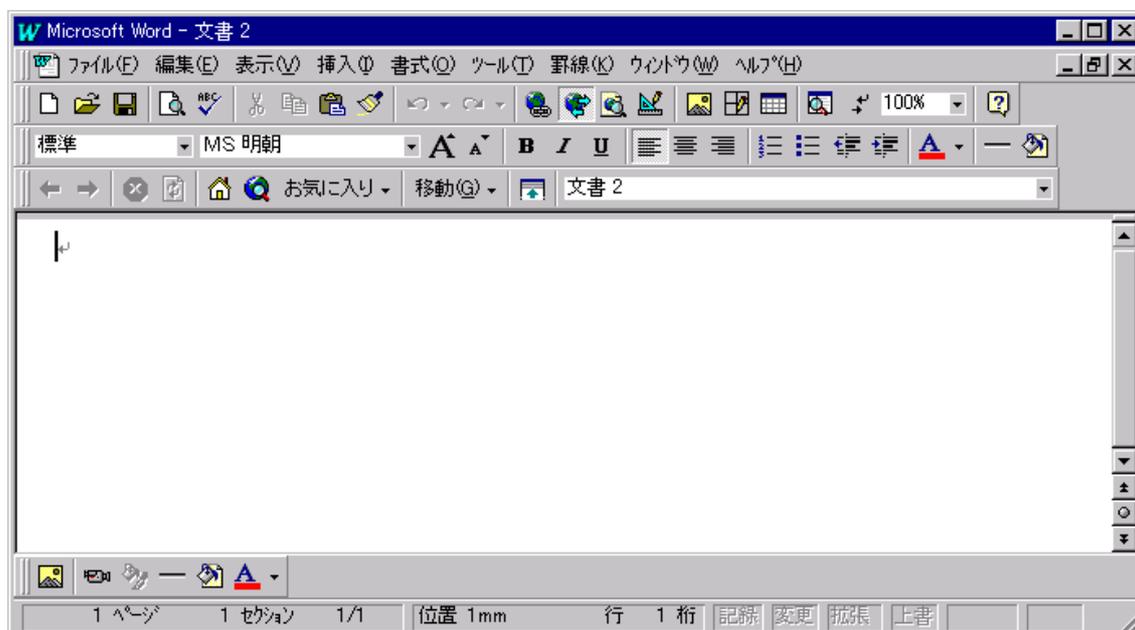


次に、メニューバーから[ファイル][新規作成]の順にクリックし、Webページのタブをクリックします。新しいWebページをクリックし、[OK]をクリックします。



#### 4. 文章の入力

それでは、文章を入力してみましょう。



次の、文章を入力してみましょう。

電大太郎のホームページ

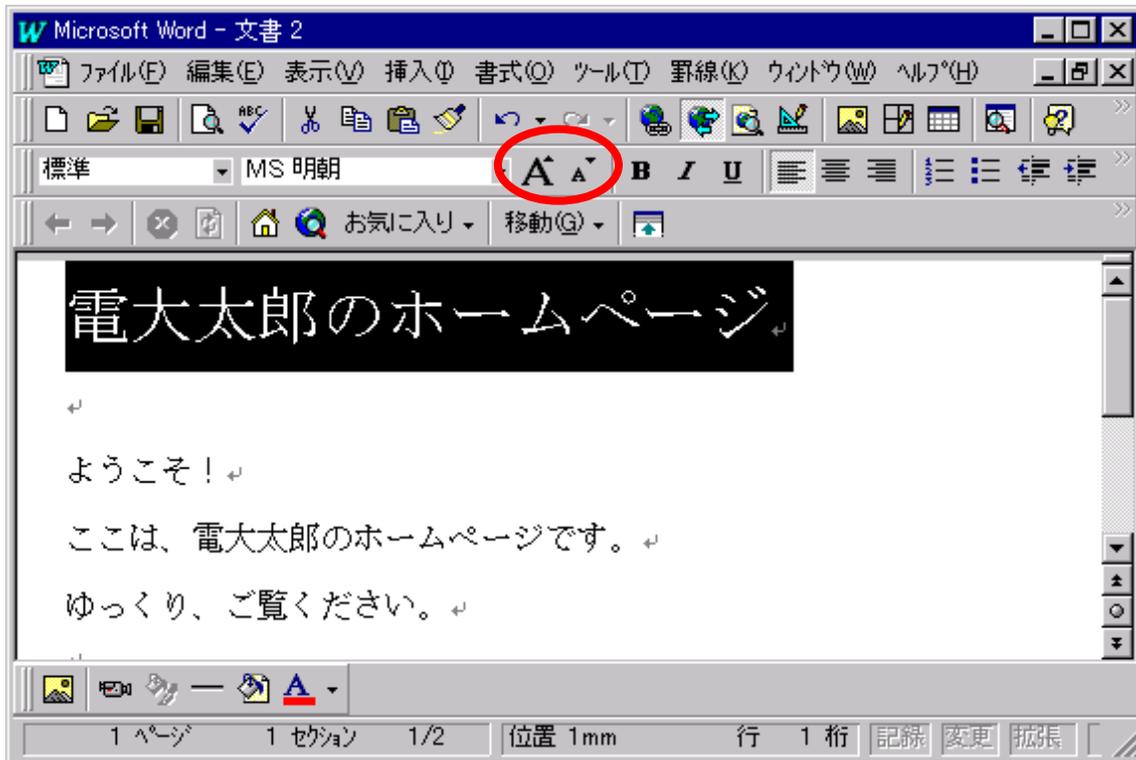
ようこそ！

ここは、電大太郎のホームページです。

ゆっくり、ご覧ください。

## 5. 文字の修飾

文字の大きさは、文字を選択した後、 をクリックすると行えます。



太字、イタリック、下線などをつけるときは  で行います。同様に、左寄せ

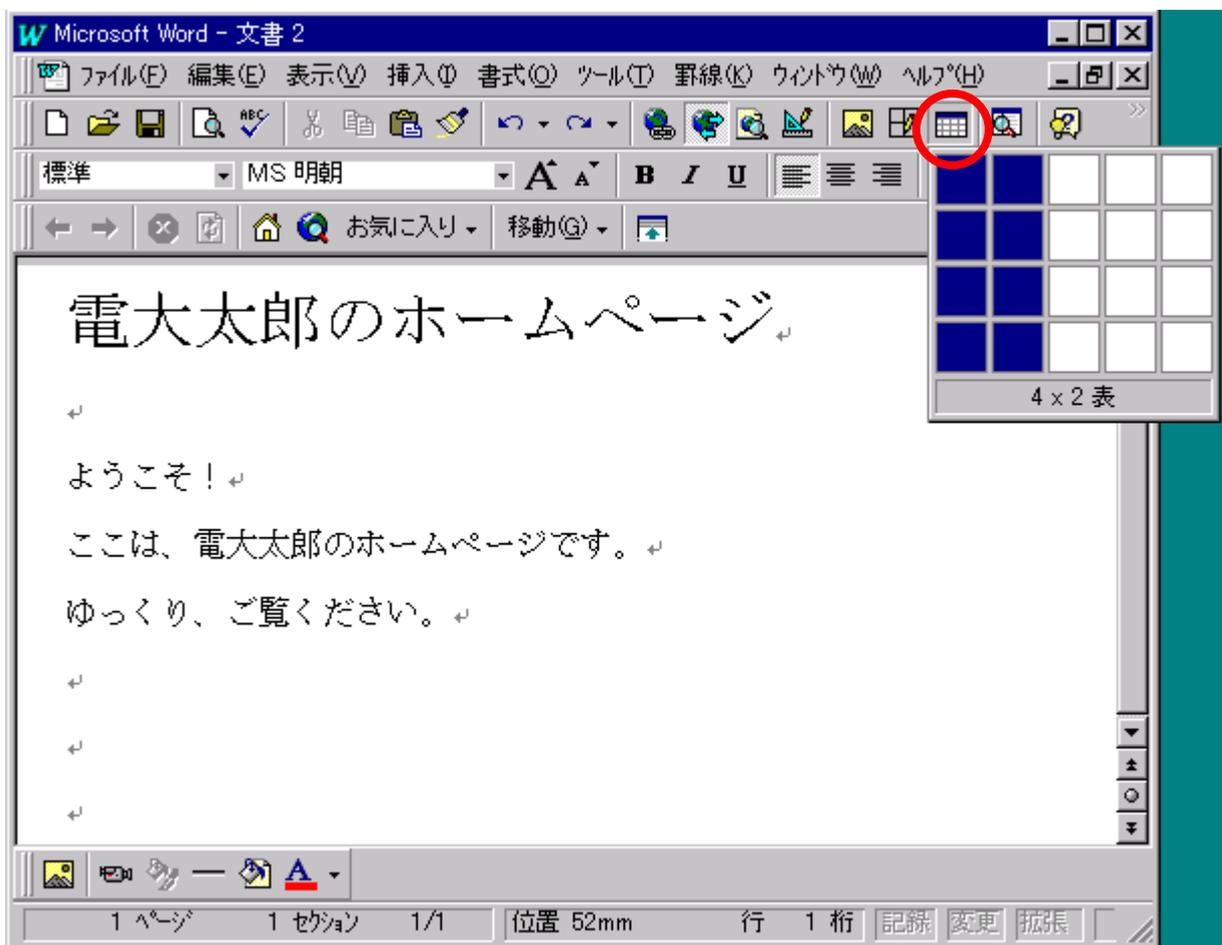
や中央ぞろえなどは  で行います。

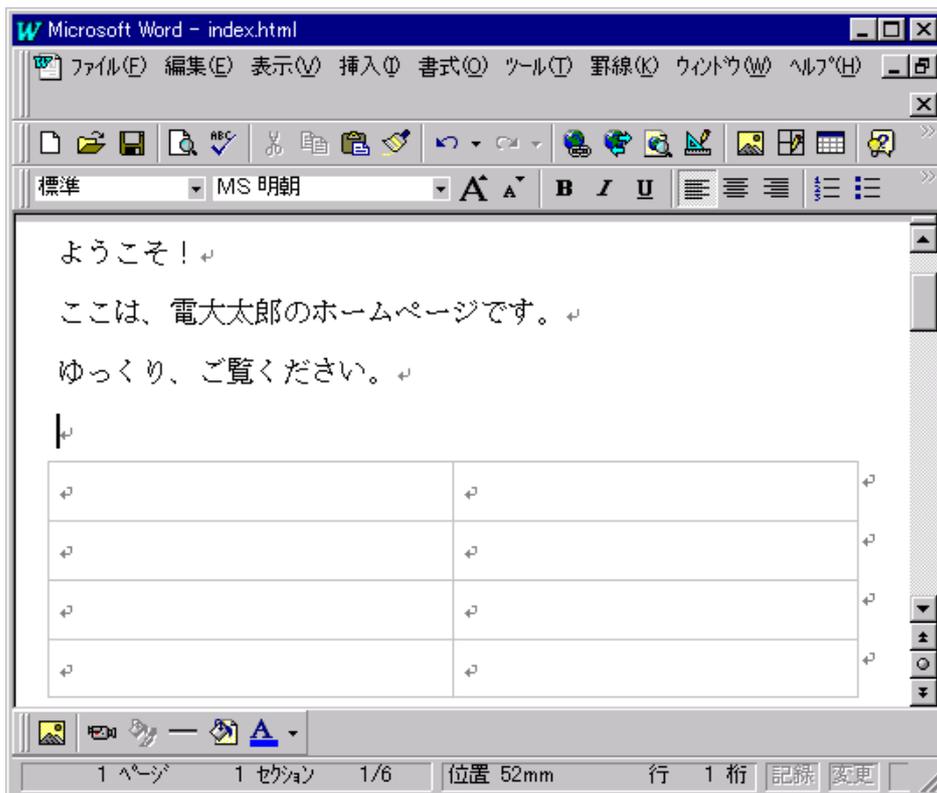
## 6. 表の作成

表の作成を行います。

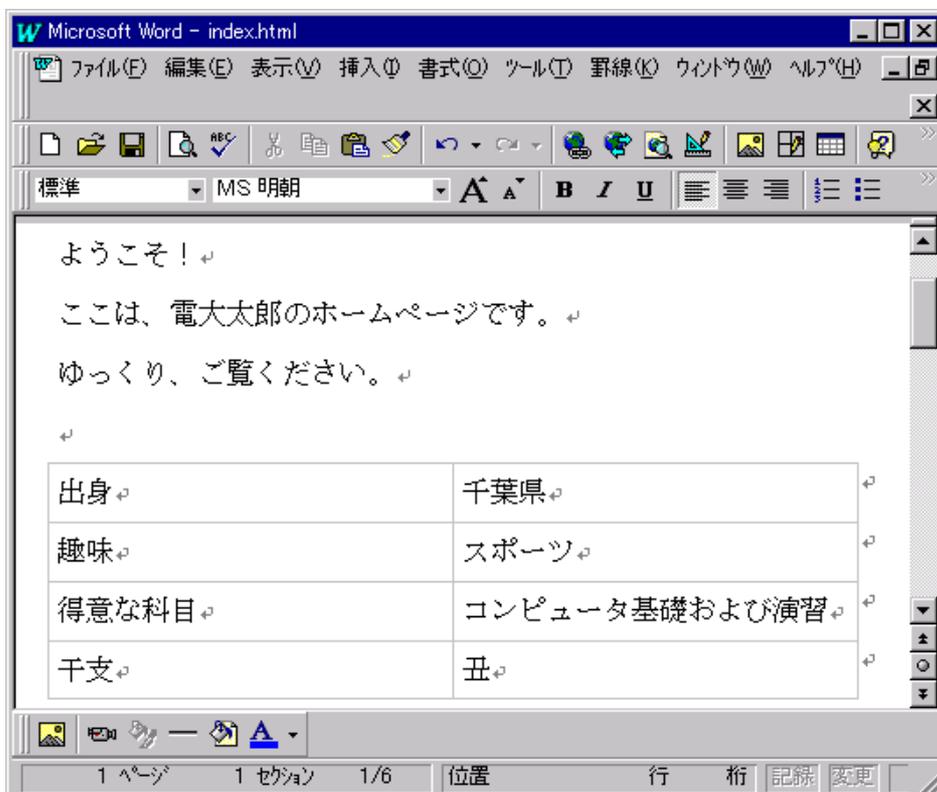
出身	千葉県
趣味	スポーツ
得意な科目	コンピュータ基礎および演習
干支	丑

文章の中で、表を挿入したい場所をクリックした後、をクリックします。この例の場合、4行2列にします。

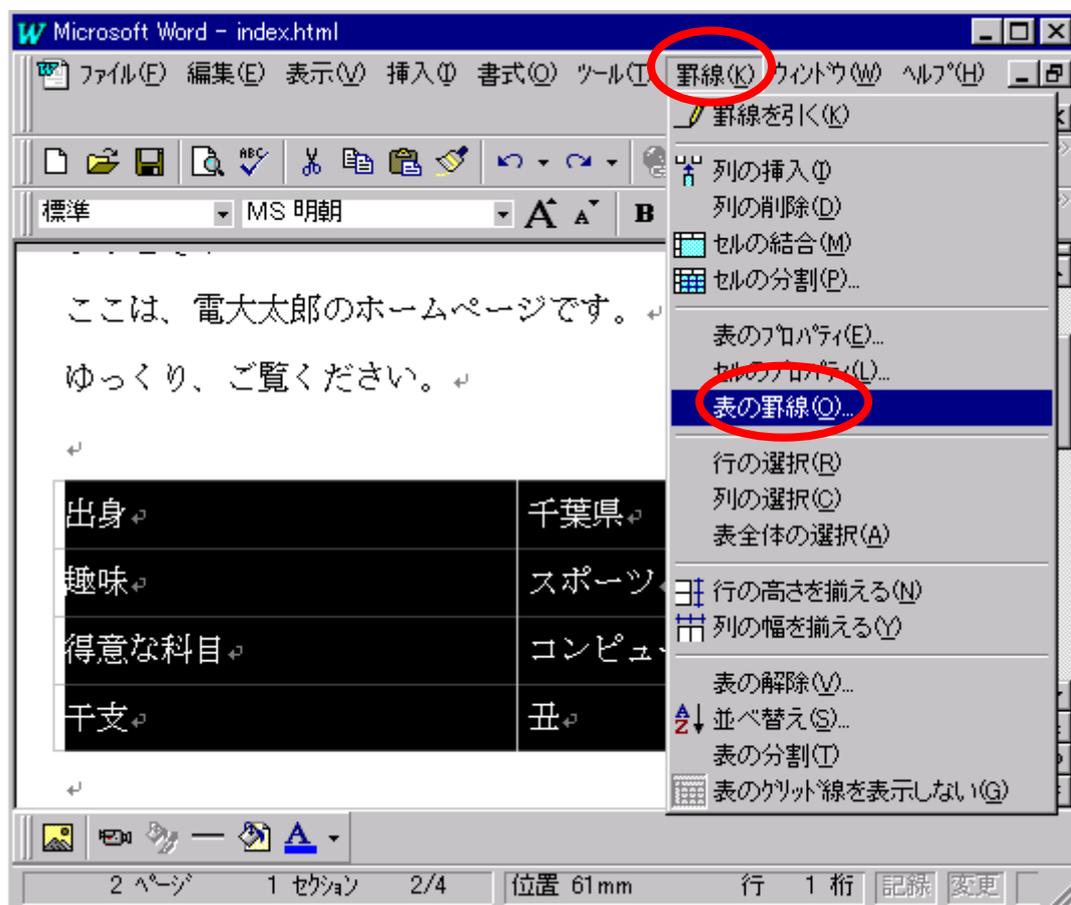




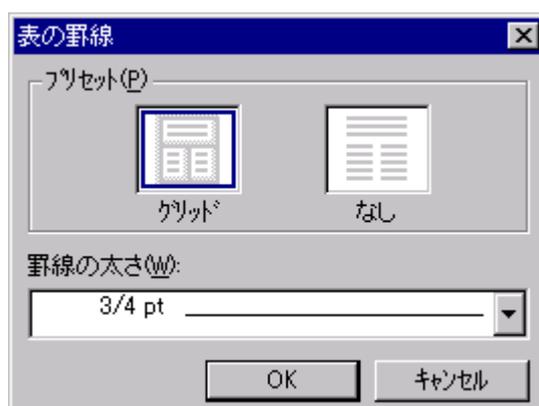
表の欄を埋めます。



表の罫線を表示します。[罫線][表の罫線]の順にクリックします。

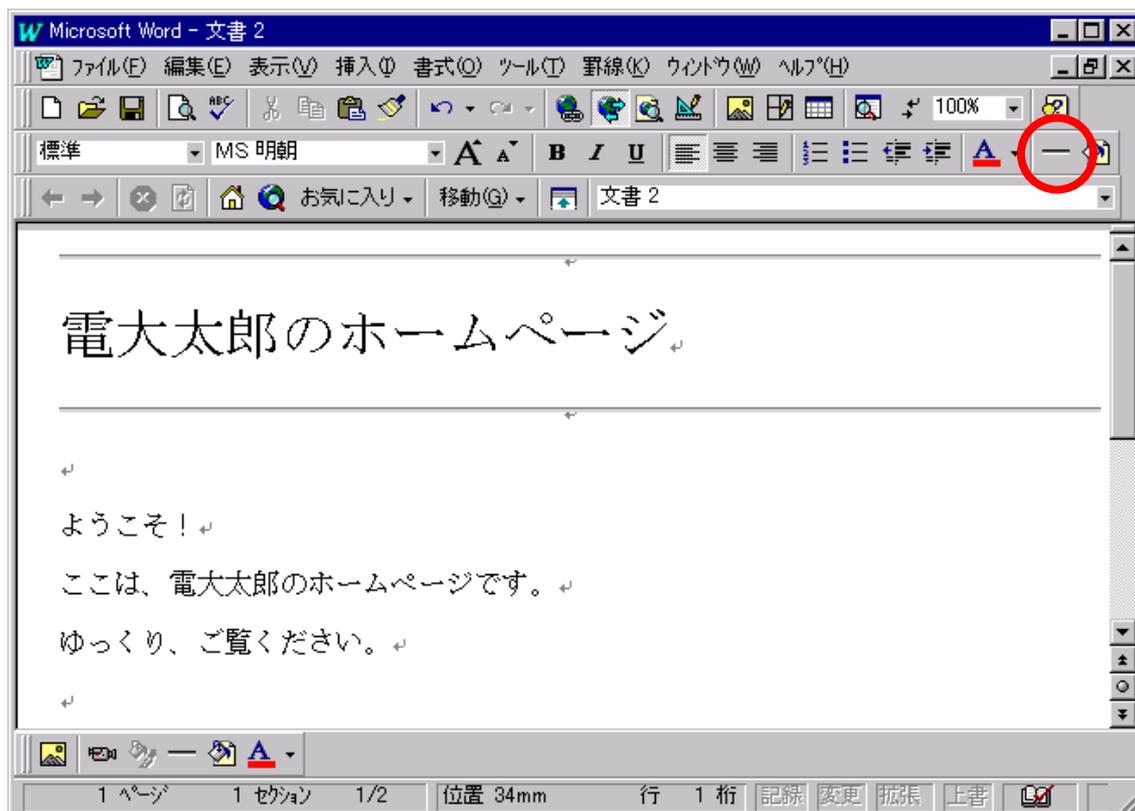


グリッドをクリックし、[OK]をクリックします。



## 7. 線の表示

ホームページの中で、区切りの良いところに線を入れると、読みやすくなります。線を入りたい行にカーソルを移動し、をクリックします。



線の太さを変更したいときは、線をダブルクリックします。オートシェイプの書式設定のウィンドウが表示されたら、色と線のタブをクリックします。



## 8. 背景色の変更

背景色の変更は、をクリックします。この中から、好みの色をクリックします。背景色を指定する場合は、薄い色にした方が見やすくなります。

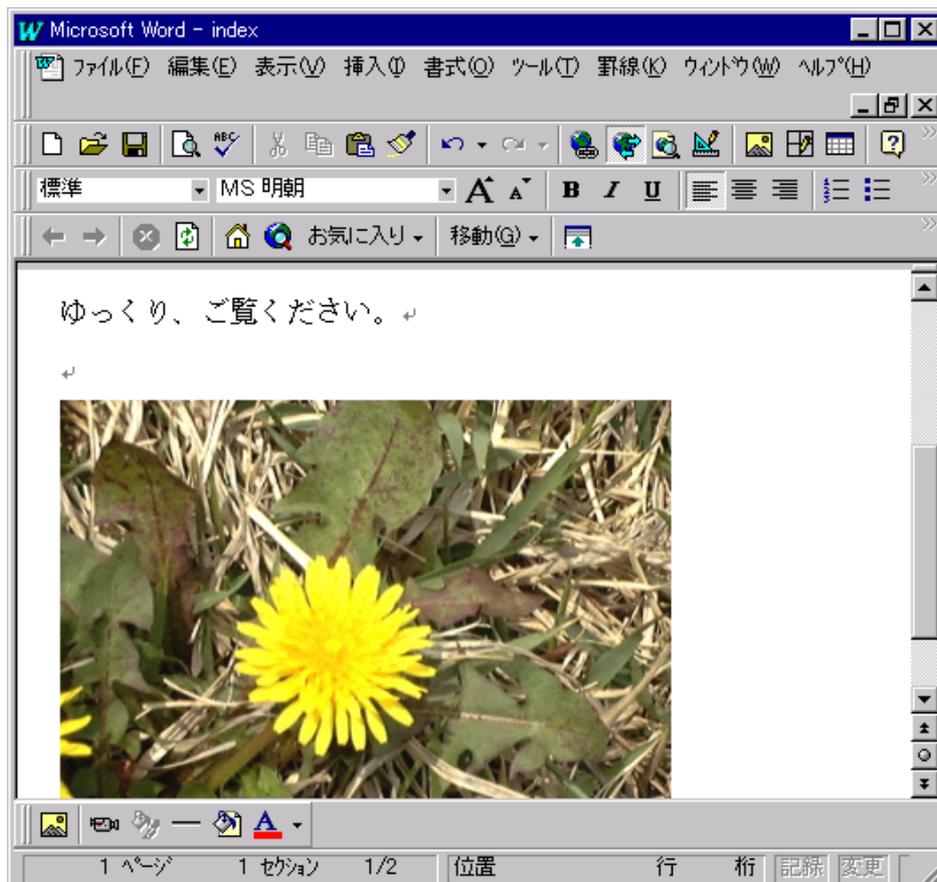


## 9. 画像の表示

デジタルカメラで撮影した写真や、イメージスキャナで入力した画像は、JPG (ジェイペグ) もしくは GIF (ジフ) 形式にしておきます。  をクリックし、画像のファイルを選択し、[挿入] をクリックします。



画像が、組み込まれます。

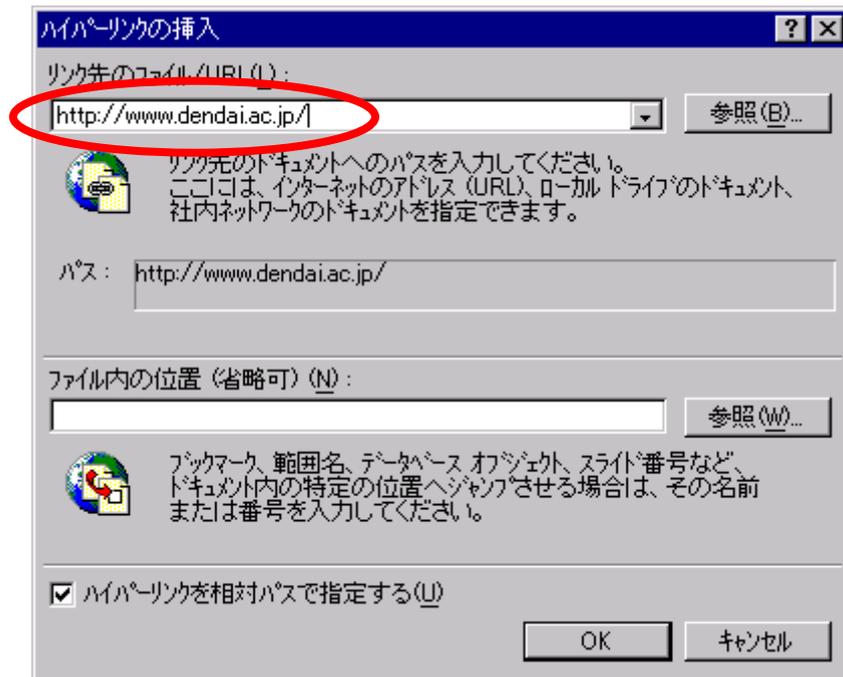


## 10. リンクの設定

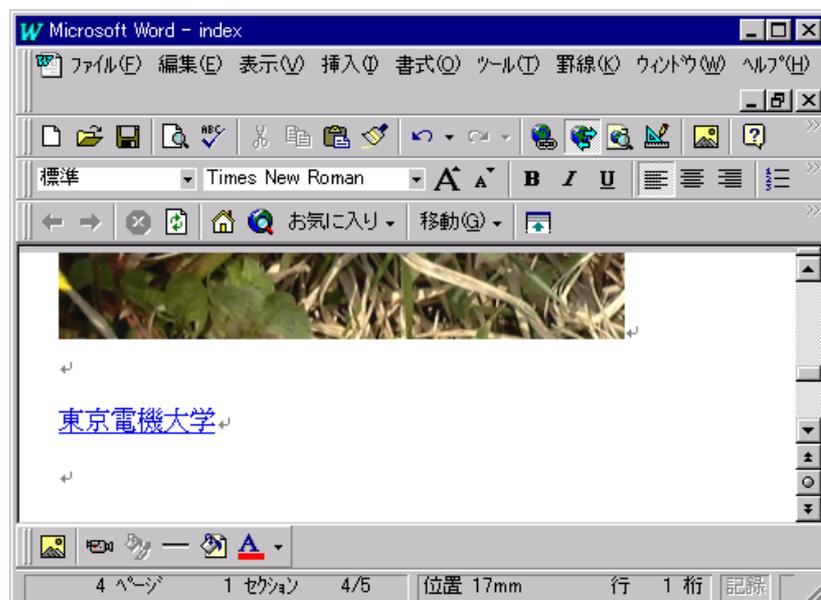
東京電機大学へリンクを張ってみましょう。

ホームページの適当な場所に、「東京電機大学」の文字を入力します。この文字をマ

ウスでドラッグした後、をクリックします。ハイパーリンクの挿入が表示されたら、リンク先を<http://www.dendai.ac.jp/>と半角で入力します。

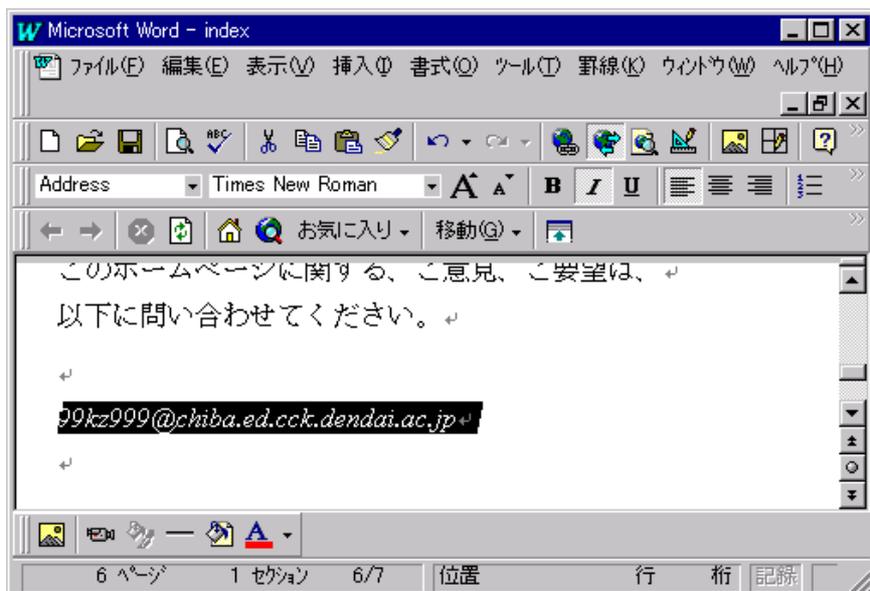
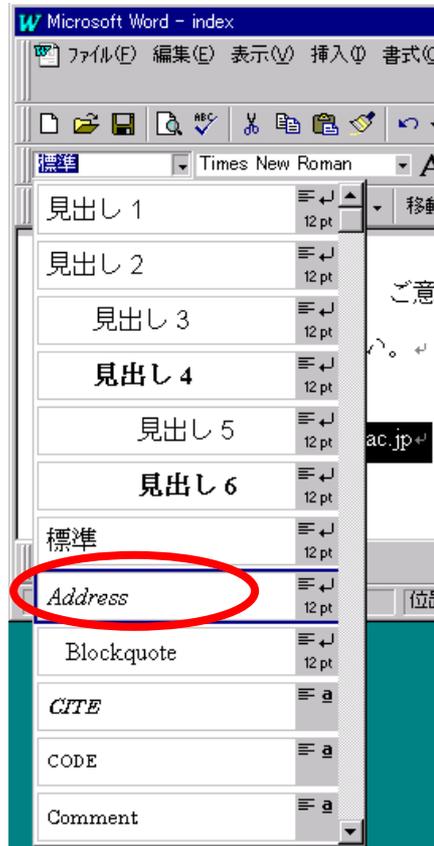


文字が青くなり下線が付きます。この文字にマウスが移動すると、指の形に変わります。



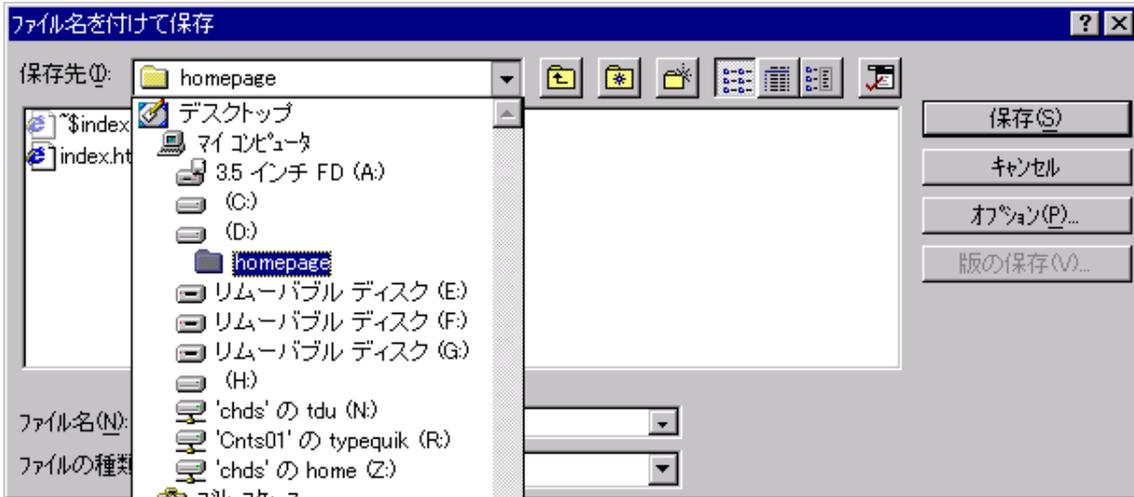
## 11. アドレスの表示

ホームページの最後には、ホームページを作成した人と連絡がとれるように、メールアドレスを記述しておきます。メールアドレスを入力した後、書式をアドレスにしておきます。

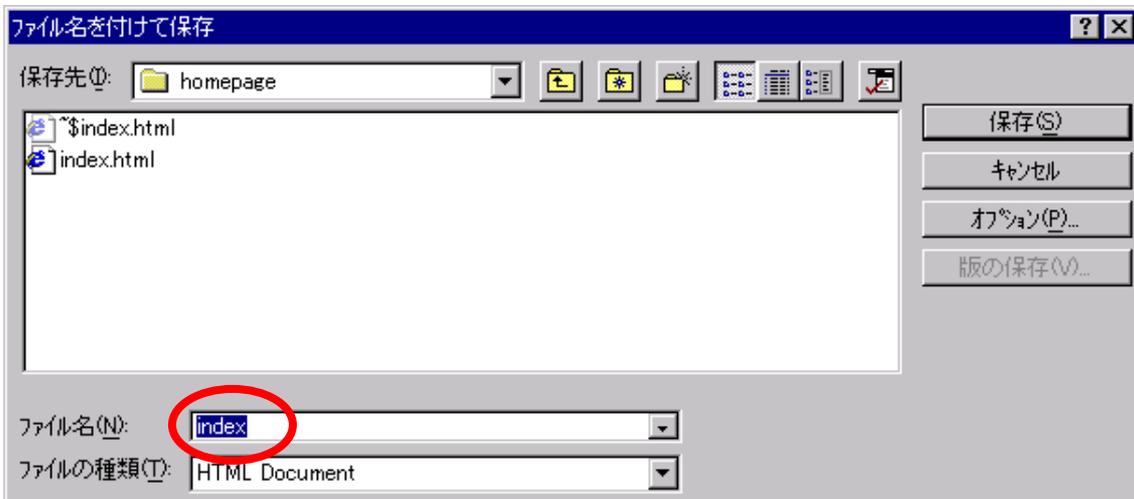


## 12. ファイルの保存

ホームページを保存します。この例では、Dドライブのフォルダhomepageに保存します。

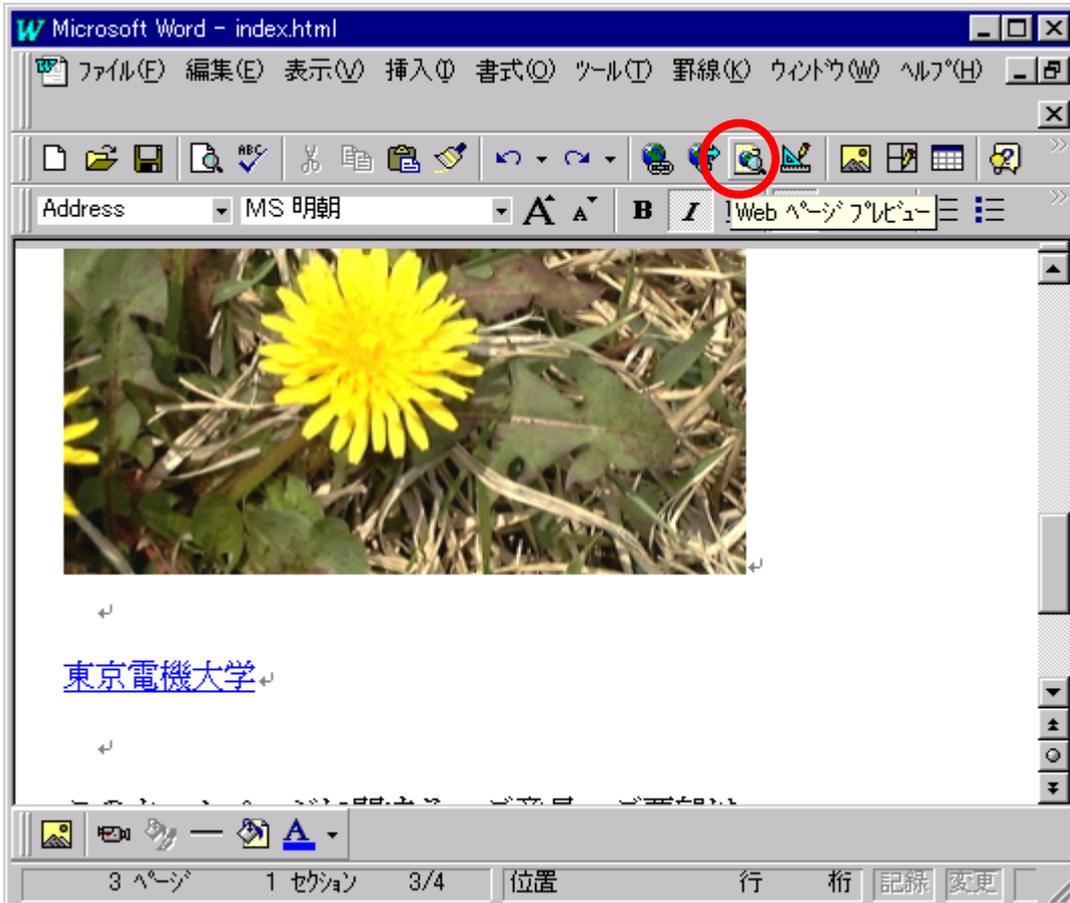


ファイルの名前は、indexという名前で保存します。



### 13. プレビューの表示

プレビューの機能を使って、でき具合を確認します。なお、プレビューを行う場合は、あらかじめ保存が完了している必要があります。

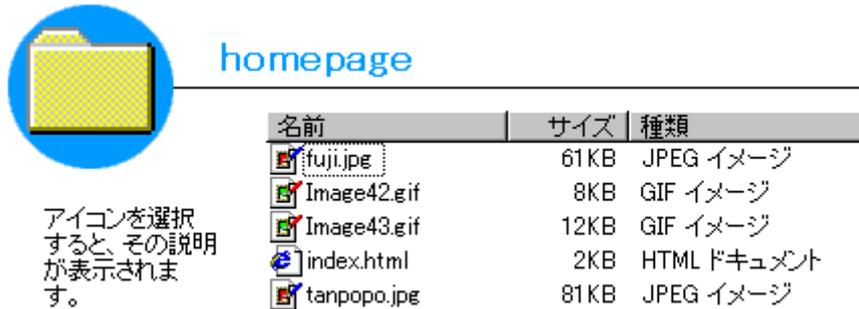


### 14. Hドライブへ保存

Dドライブは、ホームページを作成するために、一時的に利用しました。区切りの良いところで、Hドライブへコピーしておきましょう。

## 15. WWWサーバへの登録

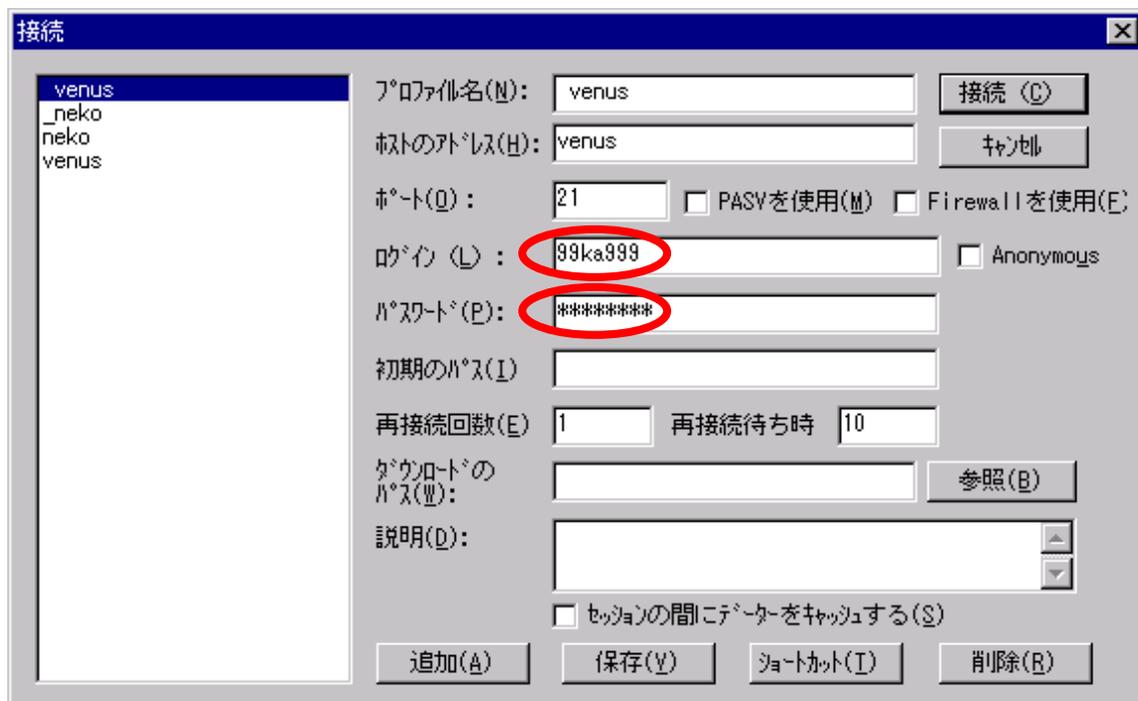
完成したホームページは、WWWサーバへ登録することによって、他の人からブラウザを使って見えるようになります。フォルダの中には、ホームページを表示するために必要なファイルが格納されているものとします。



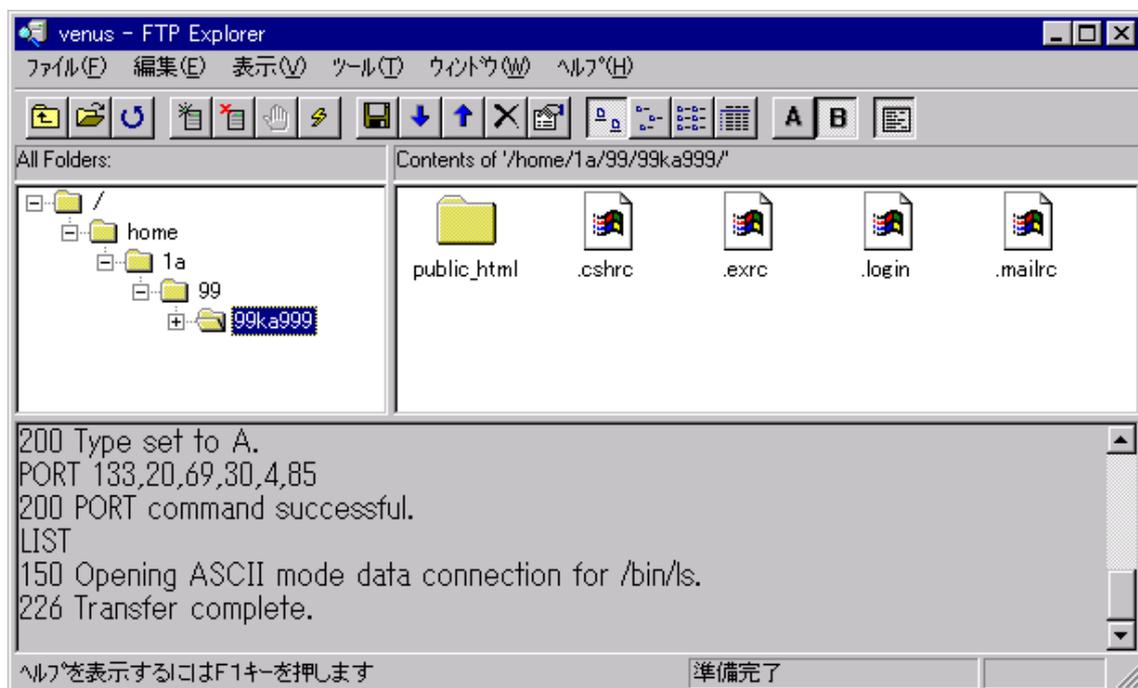
[スタート][プログラム][FTP Explorer]の順にクリックします。



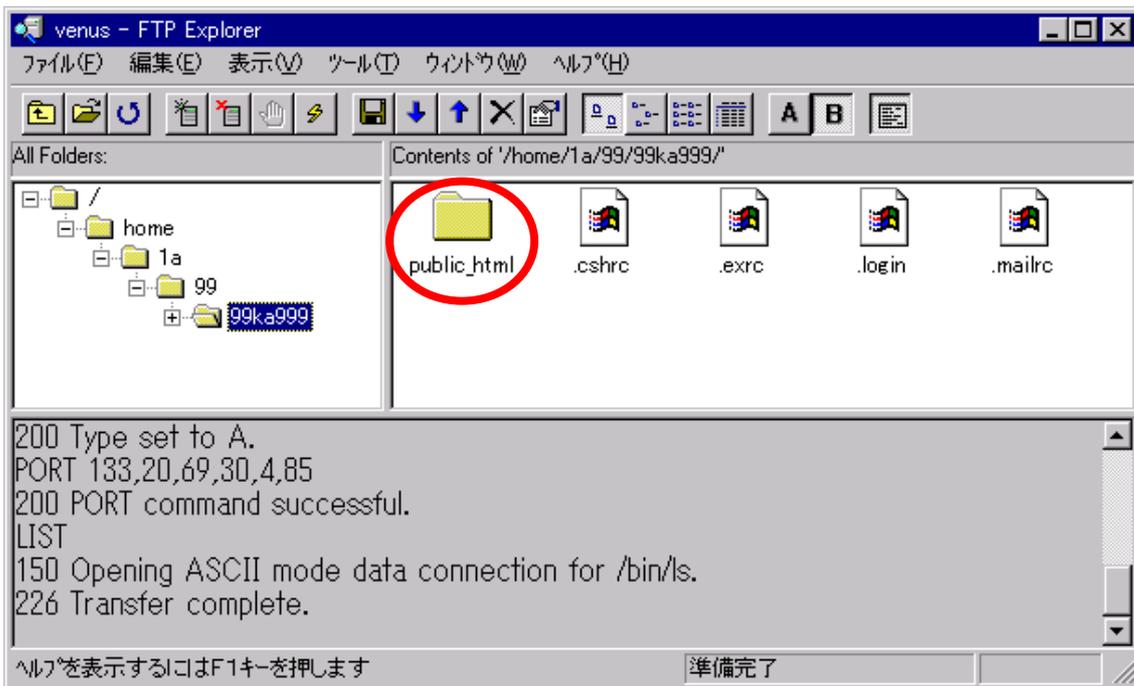
ログインの欄は学籍番号を、パスワードの欄はパスワードを入力します。パスワードの欄は、\*に置き換えて表示されます。[接続]をクリックします。



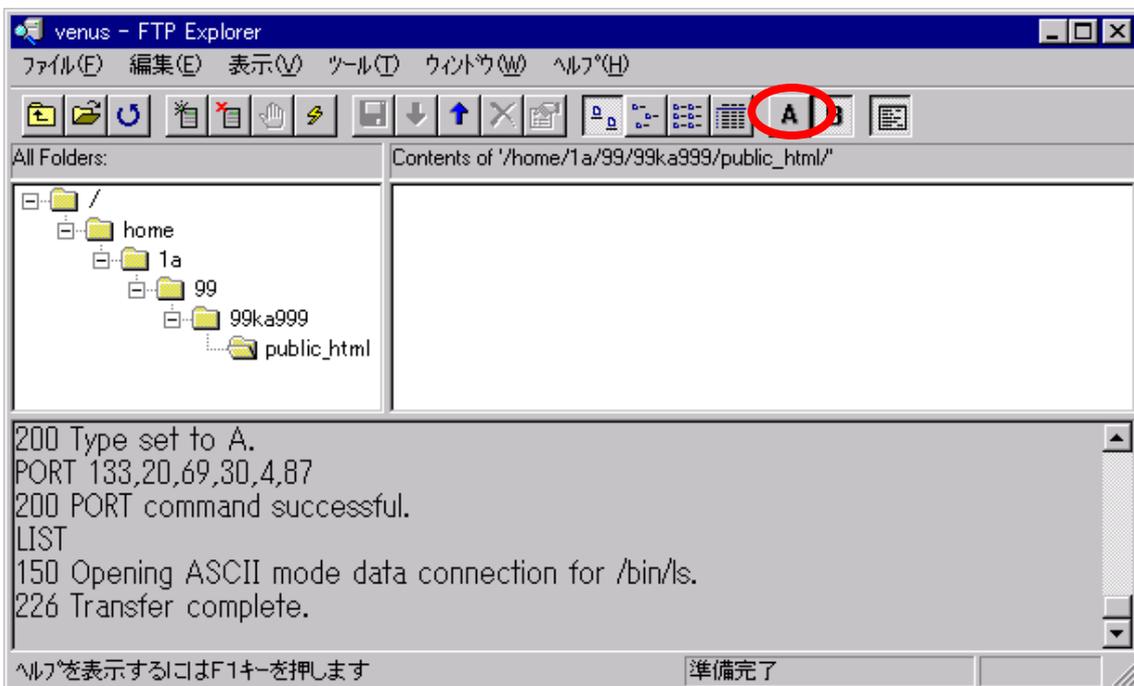
しばらくすると、次の画面が表示されます。



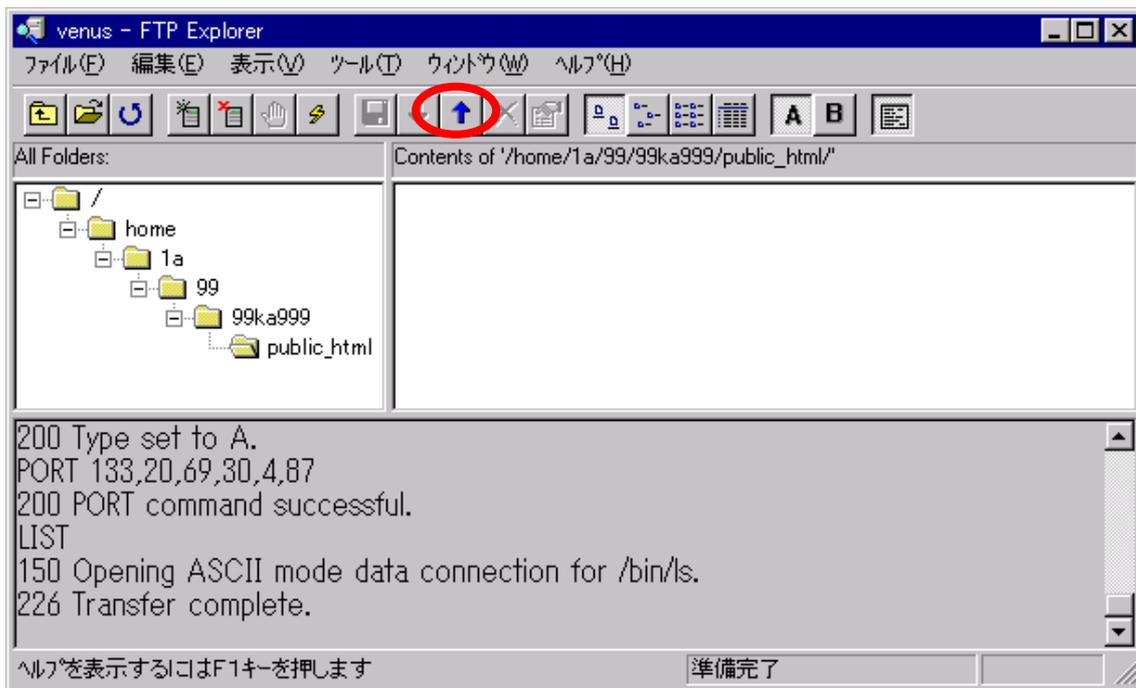
public\_htmlをダブルクリックします。



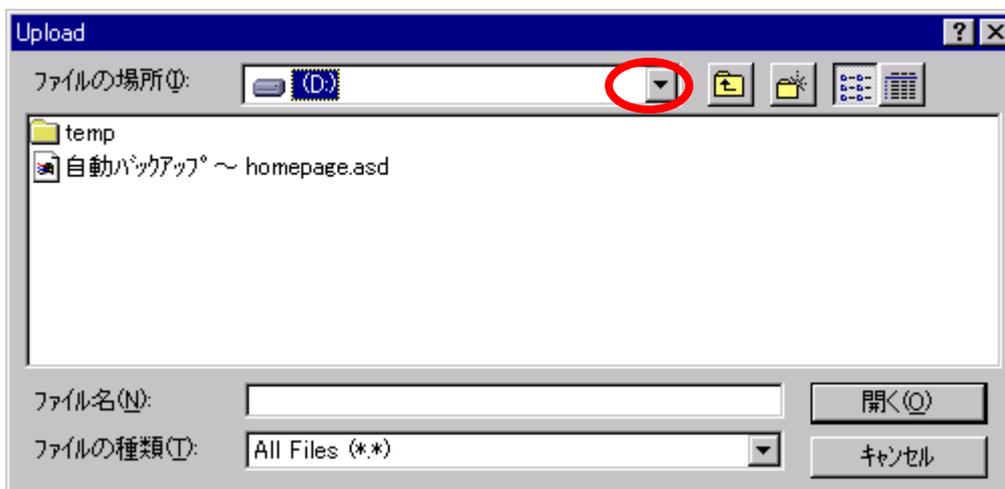
最初にindex.htmlを登録します。index.htmlはテキストファイルなので、必ずアスキーモードで転送します。アスキーモードは、**A**をクリックすると行えます。



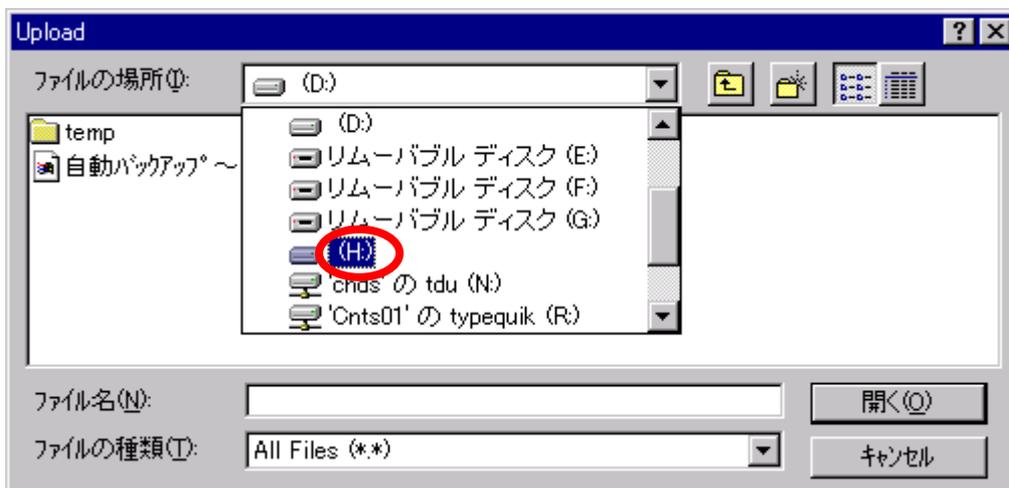
次に、をクリックします。



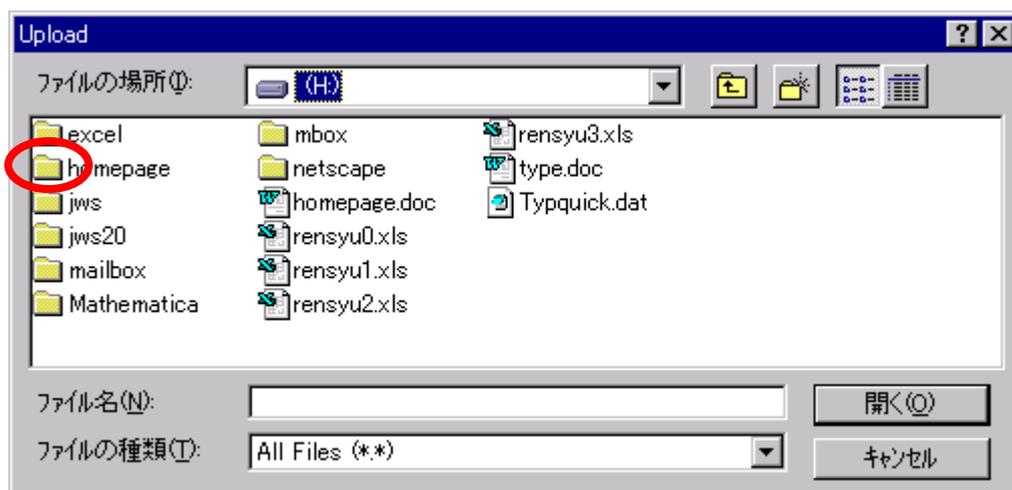
をクリックして、ドライブを変更します。



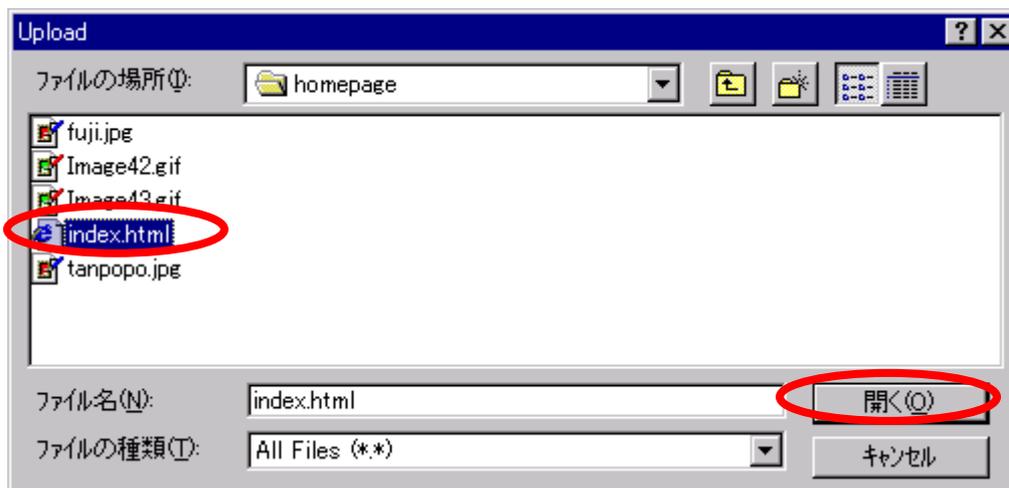
この例では、Hドライブにホームページが作成してあるので、Hをクリックします。



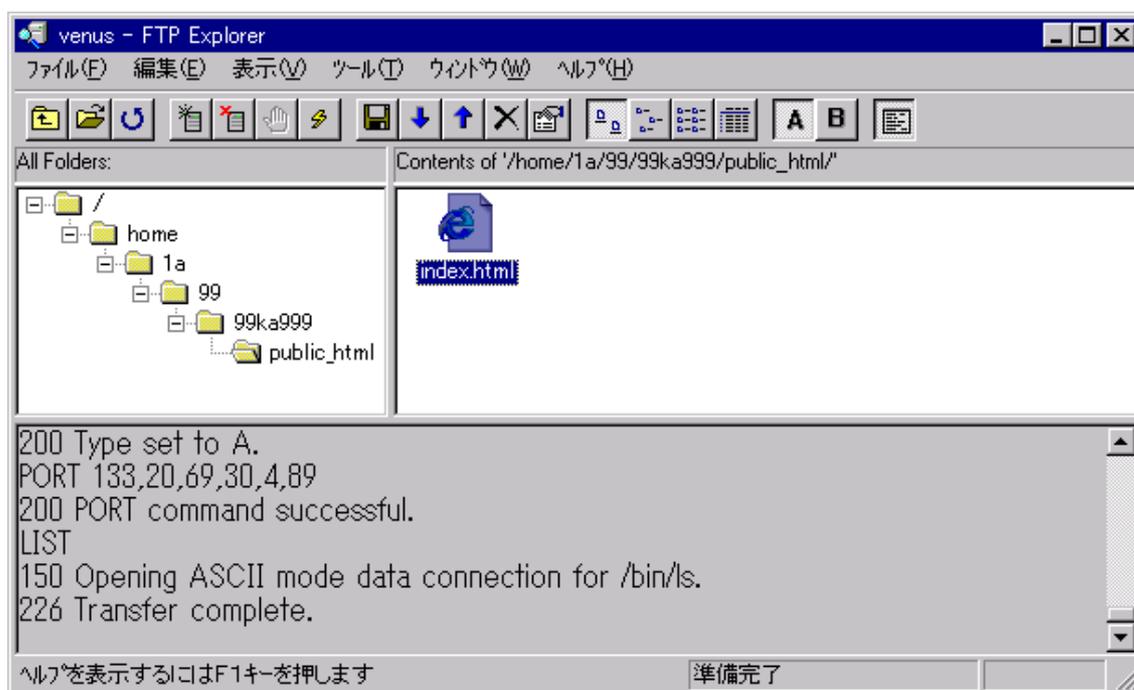
Hドライブの内容が表示されたら、ホームページが格納してあるフォルダをダブルクリックします。この例ではhomepegaをダブルクリックします。



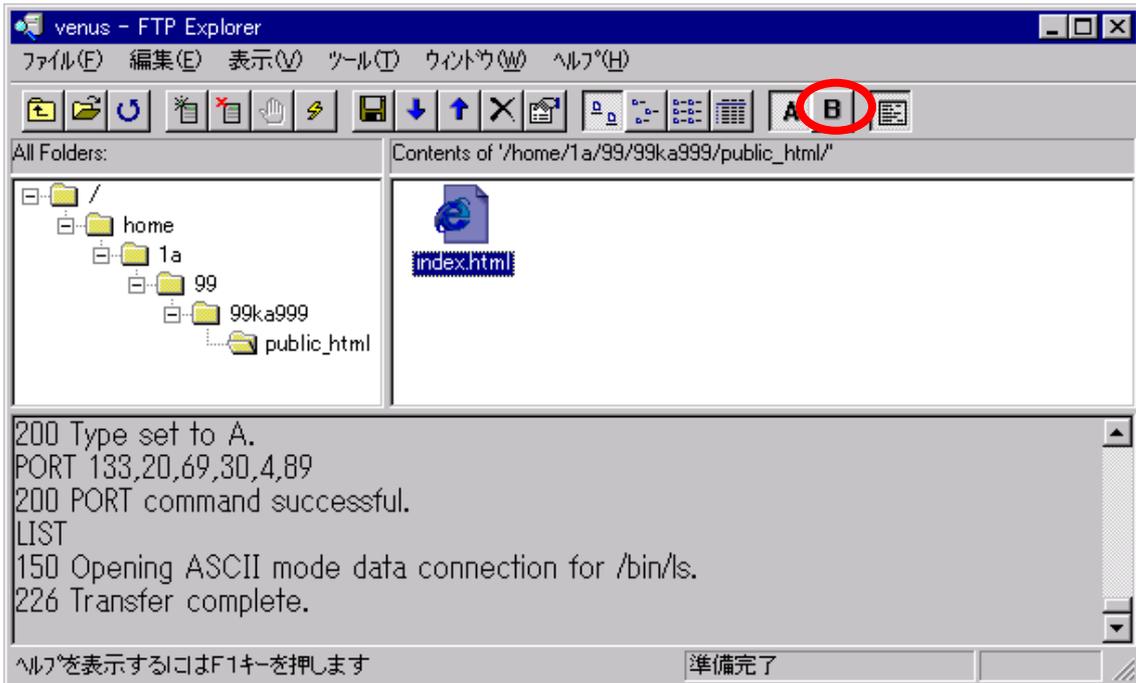
index.htmlをクリックし、[開く]をクリックします。



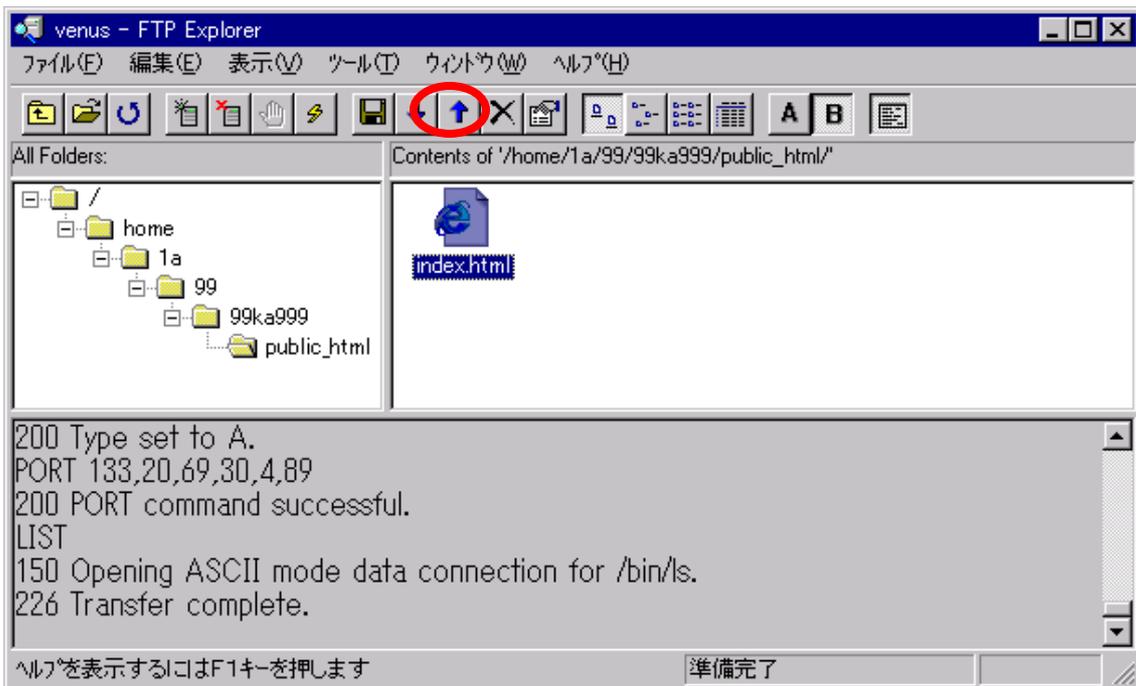
転送が完了すると、WWWサーバにindex.htmlが登録されます。



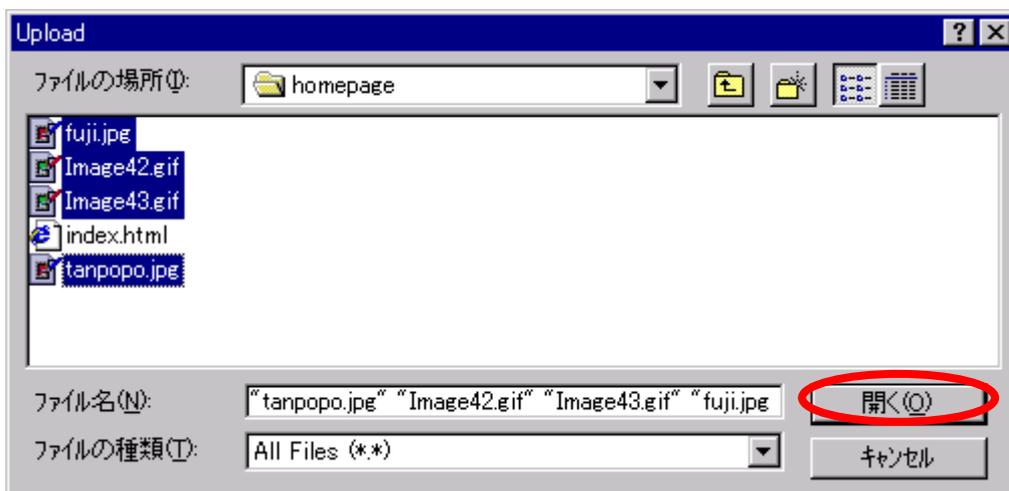
今度は、画像のファイルを送ります。画像は、バイナリ - モードで転送する必要があります。**B**をクリックします。



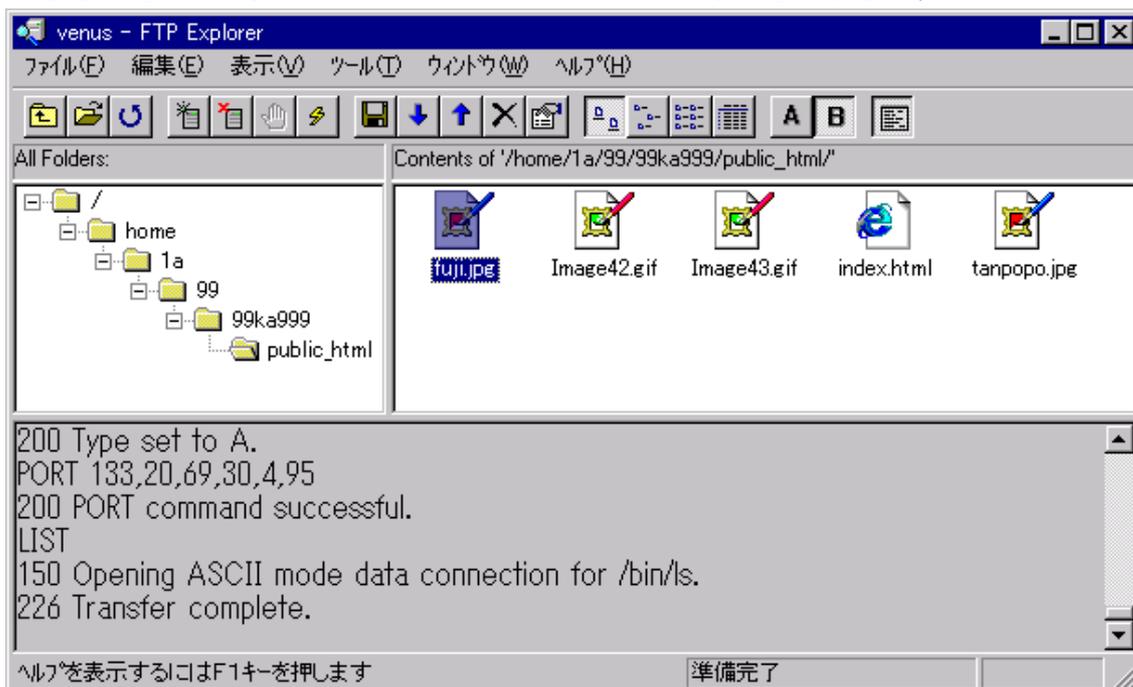
次に、をクリックします。



ホームページに必要なファイルを転送します。複数のファイルをまとめて転送するときには、Ctrlキーを押しながらかlickすると行えます。最後に、[開く]をクリックします。



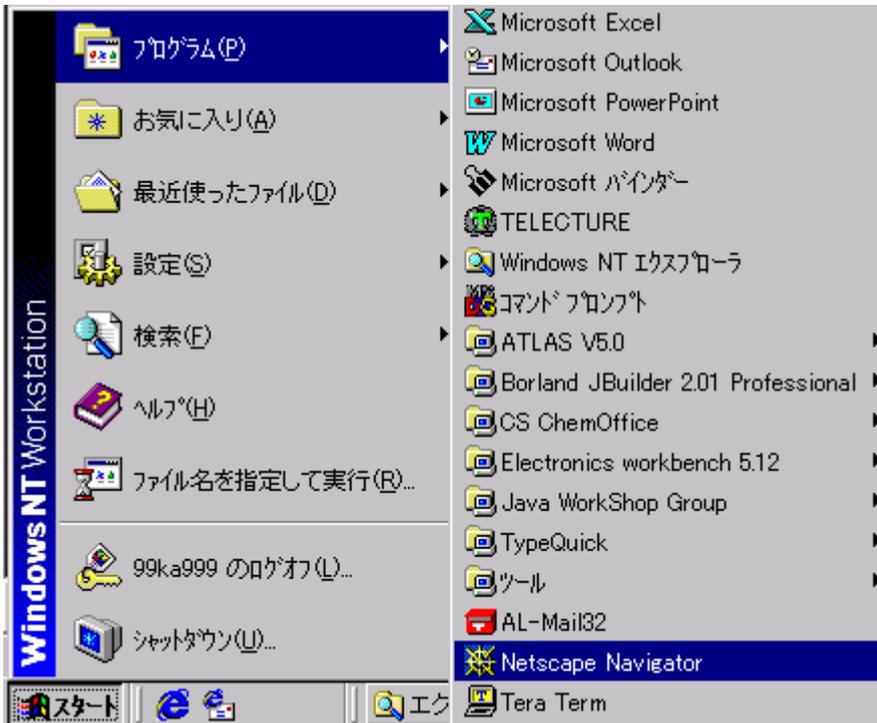
転送が完了すると、WWW サーバにファイルの一覧が表示されます。



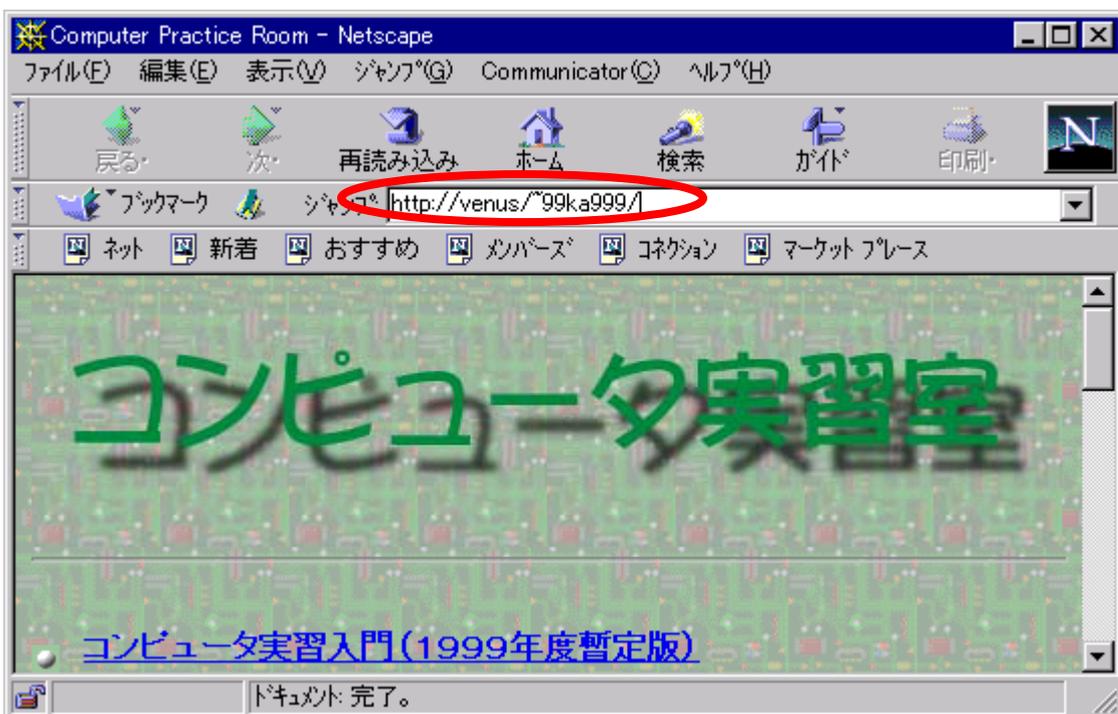
[ファイル][終了]の順にclick、もしくは右上の✕をクリックしてFTP Explorerを終了します。

## 16. ブラウザでの表示

[スタート][プログラム][Netscape Navigator]の順にクリックし、ブラウザを起動します。



ジャンプの欄に、`http://venus/~99ka999/`のように指定し、Enterキーを押します。



先ほど登録したホームページが表示されます。

